

一、舊帝室博物館建物下附

二月三日 院長、主事宮内省へ出向東京府輕部衛生課長立會ノ上、上野舊帝室博物館事務所外四百五拾餘坪ノ下附書ヲ拜受シ二月十日諸般ノ準備ヲ整へ其ノ取壊シニ著手シ三月十五日ヲ以テ全部之カ運搬ヲ完了セリ
一月二十四日 入江皇太后宮太夫閣下ヲ通シ益田孝氏外八氏ヨリ金壹萬貳千圓也ノ移築費指定寄附金ヲ以テ本用材ヲ使用シ急施ヲ要ス可キ患者注射所外七棟ノ建築計畫ヲ樹テ三月十九日ヨリ全生會館、患者注射所、患者理髮所ノ建築ニ著手セリ

一、永代神社燈籠ノ建設

本院永代神社石燈籠壹對ハ職員並ニ患者ノ寄附ヲ以テ建設シ五月二十二日竣工セリ

一、北部保養院火災

十月二十二日 此ノ日北部保養院火災全滅ノ電報ニ接シタルヲ以テ直ニ内務省ニ照會シ緊急職員會ヲ開キ即時救護班ヲ組織シ應急處置ニ要スル醫療材料並ニ藥品等ヲ携帶現地ニ急行セシムル一方職員ヲシテ罹災患者ニ送ルヘキ寢具被服百人分ノ荷造ヲナサシメ即日東京秋葉原驛發ニテ輸送シタリ

一、全生圖書館開館式

昨年末ヨリ患者ノ手ニ依リ建築中ノ全生圖書館ハ四月工事竣工シタルモ尙内部ノ設備其ノ他ニ日時ヲ要セシヲ以テ十一月舊圖書館ヲ此處ニ移轉シ十二月十五日開館式ヲ舉行シ併セテ本院學園兒童學藝品展覽會ヲ開催シタルニ近隣町村小學校ヨリ七百餘點ノ出品アリ頗ル盛會ナリキ來賓トシテ中山田無警察署長、榎本本村長、小池本村小學校長、他近隣小學校長並ニ教職員等多數臨席セラレタリ

一、一時救護所ノ開設

財團法人三井報恩會ヨリ寄附ノ重輕症舎(初度調辦設備ヲ含ム)ヲ一時救護所ニ充ツルコト、ナシ聯合府縣並ニ警視廳下協議シ七月之カ開設ヲ見タリ

一、八月十二日 財團法人三井報恩會ヨリ病舎四棟及初度調辦設備費トシテ金四千圓寄附アリタリ

初度調辦設備一式 (百人分) 四、〇〇〇圓

一、三井物産株式會社社員久山寅一郎氏外三〇三名ノ寄附ヲ以テ本院慰安會ニ於テ建築セル輕症舎一棟本院ニ寄附セラレ八月三十一日之カ引繼ヲ受ケタリ

昭和十二年

一、恩賜病棟落成式

皇太后陛下ノ御下賜金ヲ拜受シ御恩召ヲ以テ重症病棟一棟ヲ建築スルコト、ナシ、七月二十八日嚴カニ地鎮祭ヲ執行シ爾來御仁慈ニ感激セル患者ノ手ニ依リ工事ヲ進メ竣工シタルヲ以テ十一月十日神官ヲ聘シ落成式ヲ舉行、此ノ日藤間皇太后宮屬、高野内務省豫防課長、多湖東京府學務部長、岡府立清瀨病院長、武崎府立靜和園長、小池本村化成小學校長、警視廳田無警察署員、私立慰廢園主和田秀豊氏等多數來賓ノ貴臨ヲ恭フシ祝辭、祝電ヲ賜ハリタリ

一、永代神社玉垣建設

本院職員、患者ノ寄附金五百八拾餘圓及豫テ宮内省御下附ノ舊帝室博物館礎石ヲ以テ工事中ノ永代神社玉垣ハ「御惠の日」即チ十一月十日ヲ以テ竣工シタリ

一、全生劇場建設披露

昭和十一年度豫算ヲ以テ建築セル劇場ハ其ノ年度末ニ於テ竣工シタルニ依リ三月二十九日職員有志主催ノ患者慰安演劇大會ヲ催シ續イテ四月六日東京中村歌扇、阪東市太郎文合同大一座ノ歌舞伎演劇ヲ開催シテ劇場ノ新築披露ヲナセリ

① 寄附 建物

三井物産株式會社社員中丸一平氏、東京府北多摩郡武藏野町武藏野學園長佐藤藤太郎氏ノ指定寄附金ヲ以テ、慰安會ニ依リ建築セル病舎一棟ハ一月二十八日同會ヨリ本院之カ引繼ヲ了シタリ

一、敷地擴張

患者増員ニ伴ヒ敷地擴張ノ必要ニ迫ラレ聯合府縣ノ承認ヲ經テ三月現在敷地ノ東北方ニ接續セル南秋津中原山林九千

四百拾八坪ヲ買收シタリ

昭和十三年

一、恩賜楓ノ園記念碑竣工
皇太后陛下御下賜ノ楓苗木丈餘ニ成育シタルヲ以テ院内閑靜ノ地ニ移植「恩賜楓ノ園」ヲ造營シ此處ニ記念碑ヲ建設中ノ處一月十二日竣工セリ

一、大宮御所伺候

十一月二十八日御召ニ依リ院長大宮御所ニ伺候

皇太后陛下ニ拜謁仰付ラレ院内狀況ヲ具ニ言上院内諸施設諸行事撮影ノ寫眞帖ヲ奉獻セリ而シテ翌二十九日院長ハ職員並ニ患者ヲ召集シ禮拜堂ニ於テ大宮御所ニ伺候セル御模様ヲ述ヘ謹ミテ陛下ノ御仁慈ノ程ヲ傳達セリ

一、光明園委託患者歸園

昭和九年九月二十一日風水ノ襲來ヲ受ケ壞滅ノ悲運ニ遭ヒタル第三區府縣立療養所外島保養院ハ其ノ位置ヲ岡山縣長島ニ定メ再建工事中ノ處此程竣工シ光明園ト命名シ全國各療養所ノ委託患者ヲ歸園セシメツ、アリシカ本院ノ委託患者五十一名(最初委託七〇名)ハ七月五日光明園醫員吉田重春引率ノ下ニ歸園セリ

一、請願巡查設置廢止

大正二年四月ヨリ設置セル請願巡查派出所ハ今事變ニ際シ多數警察官ノ應召アリ警視廳ノ都合ヲ以テ十月三十一日限り一時之ヲ廢止セラル

一、敷地擴張

患者増員ニ伴ヒ敷地擴張ノ必要ニ迫ラレ聯合府縣ノ承認ヲ得テ現在敷地西北方ニ隣接セル南秋津上原山林一萬七坪ヲ買收シタリ

昭和十四年

一、創立三十周年記念式

十一月十日「御惠の日」ヲトシ本院創立三十周年記念式ヲ舉行東京府知事代理草間衛生課長、厚生省床次優生課長千葉縣知事代理横技師、厚生省石橋技師、同多田屬、東京府瀧口屬、同小田屬、同小島營繕技師、同清水技師、警視總監代理白石豫防係長、長島愛生園山田書記、栗生樂泉園玉村醫官、府立清瀬病院岡院長、三井報恩會理事長代理横田主事、日本MTL理事長代理小林理事、ヘテレハムノ園フロジャツク園主、眞宗和光布教師、眞言宗中山布教師、好善社藤原布教師、田無警察署高橋署長、所澤警察署長代理神山警部補、府立農事試驗場場長代理松岡技師、松澤病院廣田書記、石渡こと(元全生病院看護婦長)、東村山、久留米、片山、松井各村長、東村山助役、化成小學校長、東村山警防團長、同副團長、東村山郵便局長、東村山驛長、其他村會議員、新聞記者等多數列席セラル
次イテ永年勤続職員看護長後澤長四郎外三十名ノ表彰、並ニ善行患者平松秀男以下五十名ノ表彰アリ、午餐ノ後娛樂場ニ於テ學園兒童學藝品ノ展覽、患者演劇、音樂、舞踊等ノ餘興アリ盛會裡ニ終了シタリ

昭和十五年

一、五月十四日 皇太后陛下ヨリ御下賜ノ公孫樹苗木ヲ御歌碑庭前ニ謹植セリ

一、紀元二千六百年記念事業ノ一トシテ恩賜楓ノ園ヲ中心トシタル一大記念公園ノ建設ヲ計畫八月一日之カ地鎮祭ヲ執行同日ヨリ職員、患者合同奉仕作業ヲ續行第一期工事ヲ終了セリ

昭和十六年

一、二月十一日 宮内省ヨリ社會事業獎勵ノ恩召ヲ以テ金參百圓下賜東京府ヨリ同趣旨ヲ以テ金壹百圓也下付セラル

一、三月十四日 朝香宮鳩彦王殿下傷痍軍人御慰問ノ恩召ヲ以テ御成り遊ハサル

主ナル來園者ハ軍人援護會々長奈良武次大將、軍事保護院三島副總裁、濱野醫療課長、若尾理事官、厚生省高野豫防局長、床次優生課長、東京府小菅總務部長、全草間衛生課長、其他ノ諸氏ナリ

一、七月一日 本院ハ國立ニ移管厚生省諸管トナリ名稱ヲ多磨全生園ト改稱同日付ヲ以テ園長、事務官、外醫官五名、

判任官十名發令セラル

一、七月二日 國立移管式ヲ舉行ス、主ナル來賓ハ、大谷皇太后太夫、高野豫防局長、床次優生課長、管理知事代理東京府並川經濟部長、全草間衛生課長、警視廳加藤醫務課長、神奈川縣北條衛生課長、埼玉縣土田衛生課長、群馬縣松野衛生課長、千葉縣平松衛生課長、栃木縣加藤衛生課長、山梨縣渡邊醫務部長、栗生樂泉園古見園長、其他多數ナリ
 二、十月十五日 皇太后陛下御下賜金ヲ以テ設備中ノ園内ヲチオ放聲裝置完成シ之ガ落成式ヲ舉行ス

一、收容定員増員狀況

年度別	收容定員	年度別	收容定員
明治四二年度	三〇〇人	昭和三年度	九〇〇人
大正元年度	三五〇人	昭和六年度	一、〇〇〇人
大正四年度	四〇〇人	昭和一〇年度	一、一〇〇人
大正七年度	五〇〇人	昭和一二年度	一、二〇〇人
大正一一年度	六〇〇人	現在	同
大正一三年度	七五〇人		

二、敷地擴張狀況

擴張年月	面積	備考
明治四十二年二月	三〇、七〇八 ^坪 〇〇〇	
明治四十四年	一五〇、〇〇〇	
大正十一年十二月	二〇、三五三、〇〇〇	

大正十二年三月	四、六六四、〇〇〇
昭和六年七月	九、四七三、〇〇〇
昭和二年三月	二五、一六三、〇〇〇
昭和十二年三月	九、四一八、〇〇〇
昭和十三年	一〇、〇〇七、〇〇〇
計	一〇九、九三六、〇〇〇
實測ノ結果改訂	一一四、五五八、四二三

此内患者一時溜所敷地四九坪五六三ヲ含ム

一、職員異動表

任命年月日	摘要	退職年月日	職名	氏名
明治四二年 四月一日	明治四三年九月勅令第三六號 發布ニ依リ九月三日限廢職	明治四三年 三月一日	院長事務取扱	大野 徳太郎
同 四月七日	明治四三年六月一四日轉職	明治四三年 九月二二日	書記	今道 小十郎
同 四月八日	明治四三年九月勅令第三六號 發布ニ依リ九月三日限廢職		書記	齋藤 利一
同 四月二四日			同	
同 九月七日			同	
同 九月一〇日			同	
同 九月二二日			同	
同 九月二三日			同	
同 一二月二五日			同	
同 四三年 二月二一日			同	

同	三月一日	同	院 長	池 內 才 次 郎	
同	六月四日	同	醫 員	川 上 左 右 須 計	
同	六月四日	同	藥劑師兼醫員	齋 藤 利 一	
同	一〇月一日	明治四三年九月勅令第百六號 依り更ニ任命	療養所長院長	池 內 才 次 郎	
同	一〇月一日	同 (大正三年二月九日轉職)	醫 長	光 田 健 輔	
同	一〇月一日	同 (大正六年七月九日死亡)	醫 員	陳 鶴 健 輔	
同	一〇月一日	同	同	村 田 茂 助	
同	一〇月一日	同	同	川 上 左 右 須 計	
同	一〇月一日	同	同	內 海 廣 業	
同	一〇月一日	同 (明治四年九月四日死亡)	同	齋 藤 利 一	
同	一〇月一日	同 (明治四年一月一 一五日休職)	同	佐 々 木 哲 助	
同	一〇月一日	同	同	石 井 綱 條	
同	一〇月一日	同	同	工 藤 理 助	
同	一〇月一日	同	同	清 水 富 一	
同	一〇月三日	同	同	八 角 六 一 郎	
同	四四年九月二日	大正二年五月一日轉職	同	調劑員兼醫員	高 橋 幸 之 助
同	一二月二五日	同	同	記	吉 野 熊 次 郎
大正二年五月一日	同	同	同	書記兼委員	高 橋 幸 之 助
同	六月二七日	大正七年一〇月九日休職 同八年五月二三日復職	同	調劑員	杉 山 銀 次 郎
同	七月一六日	同	同	書記	安 藤 三 次 郎
同	一二月四日	大正九年四月一九日轉職	同	醫 員	石 川 又 藏

同	大正三年二月九日	長島愛生園長ニ轉セラル	同	院 長 兼 療養所長	光 田 健 輔	
同	五月一三日	大正九年四月一九日轉職	同	醫 員	林 芳 信	
同	五月一八日	同	同	記	毛 涯 鴻	
同	六月二九日	大正一五年六月八日轉職	同	同	橫 田 久 郎	
同	四年一〇月一五日	同	同	同	河 本 久 米 太 郎	
同	一〇月三〇日	同	同	同	森 岡 雄 太 郎	
同	五年九月八日	大正一三年二月五日死亡	同	同	市 川 章 之 助	
同	九月八日	同	同	同	遠 藤 作 次 郎	
同	七年九月三日	大正九年四月一九日轉職	同	同	服 部 鐵 太 郎	
同	九年四月一九日	同	同	同	石 川 又 藏	
同	四月一九日	昭和六年五月五日轉職	同	同	林 芳 信	
同	四月一九日	同	同	同	服 部 鐵 太 郎	
同	五月四日	同	同	同	內 藤 直 樹	
同	一〇年二月一日	同	同	同	坂 主 鐵 太 郎	
同	二月一日	同	同	同	三 上 太 一 郎	
同	八月二〇日	同	同	同	川 上 左 右 須 計	
同	八月二四日	大正一四年一月一九日轉職	同	同	醫 員	杏 澤 貫 一 郎
同	一二年五月一九日	昭和二年三月五日 外島保健院醫員ニ補セラル	同	同	療養所醫員	櫻 井 方 策 郎
同	一二年六月四日	同	同	同	調劑員	齋 藤 勝 助
同	一三年一月二日	院長不在中 東京府理事官庶務課長	同	同	院長事務取扱	土 岐 銀 次 郎
同			同	同	調劑員	本 莊 平 治

同	七月二日			昭和一二年二月一日	看護婦長	石渡 こと
同	九月二日			大正一五年九月三〇日	看護長	後澤 長四郎
同	一〇月一日			同	書記	伊藤 菊司
同	一〇月三〇日		昭和五年一月二四日轉職	同	書記	渡邊 源次郎
同	一四年一月九日			同	書記	沓澤 貫一郎
同	四月三日			同	書記	谷 田 榮
同	六月五日			同	書記	許 燦
同	八月一日			同	書記	海老澤 五郎
同	一〇月三〇日		昭和五年一月二四日轉職	同	書記	西原 隆三
同	一二月三〇日			同	書記	望月 隆
同	二三月三日			同	書記	大熊 卯之吉
同	一五年六月八日			同	書記	横田 久
同	七月二日		昭和七年一月二五日轉職	同	書記	五十嵐 正
同	一〇月四日			同	書記	島 憲 藏
昭和二二年五月二八日			長島愛生園醫官ニ轉セラル	同	書記	林 文 雄
同	三年一〇月一六日		昭和一三年二月二五日死亡	同	書記	大川 賢太郎
同	四年四月二五日		星塚敬愛園醫官ニ轉セラル	同	書記	大沼 英之助
同	六月二日		星塚敬愛園調劑手ニ轉セラ	同	書記	大山 繁 隆
同	八月二日			同	書記	上田 末 吉
同	五年一月二四日			同	書記	渡邊 源次郎
同	一月二四日			同	書記	西原 次郎

同	六月二五日		長島愛生園醫官ニ轉セラル	同	書記	大西 富美子	
同	六年三月一六日		東京府衛生課長	同	書記	院長事務取扱 輕部 修伯	
同	五月五日			同	書記	院長事務取扱 林 芳 信	
同	七年一月二五日			同	書記	療養所醫員 五十嵐 正	
同	一月二八日		昭和七年九月九日 石川縣へ出向ヲ命セラル	同	書記	療養所醫員 中島 俊之	
同	四月二四日			同	書記	療養所主事 廣田 安次郎	
同	二月一八日			同	書記	療養所主事 齋藤 春雄	
同	七年二月一〇日		昭和一三年五月一八日轉職	同	書記	療養所醫員 長谷川 久次	
同	八年六月一〇日			同	書記	療養所醫員 藤田 敬吉	
同	六月一〇日			同	書記	同	阿部 秀直
同	八月三一日			同	書記	書記 永井 晃道	
同	九年五月一八日			同	書記	療養所主事 石橋 伊八	
同	一〇年四月一九日		昭和一一年五月五日轉職	同	書記	療養所主事 淺野 滋	
同	五月三一日		昭和一六年一〇月六日死亡	同	書記	書記 越部 義行	
同	二月二五日			同	書記	調劑員 小岩 信一	
同	二月二三日		昭和一二年三月二日死亡	同	書記	調劑員 肥田 敏明	
同	四月二〇日			同	書記	調劑員 官崎 米雄	
同	五月五日		(醫員ヨリ)	同	書記	療養所醫員 淺野 滋	
同	五月六日			同	書記	療養所醫員 宮本 正美	
同	八月二〇日			同	書記	療養所醫員 池尻 慎一	
同	九月二五日			同	書記	療養所醫員 日戸 脩一	

同 一二年 四月三〇日
 同 一三年 四月三〇日
 同 一五年 三月一九日
 同 一五年 六月一五日
 同 一五年 八月二五日
 同 一五年 八月二五日
 同 一六年 七月一日

昭和一五年六月二七日
 京都府へ出向ヲ命セラル
 (醫員ヨリ)
 昭和一五年二月二二日
 栃木縣へ出向ヲ命セラル

同 一五年 四月一八日
 同 一四年 二月二二日
 同 一六年 二月二八日
 昭和一七年二月一九日

書 記 鳥居善一
 看護婦長 坂崎たか
 書 記 伊藤十五
 療養所醫員 長谷川久次
 醫 員 八木英忠
 調劑 員 山田元雄
 書 記 藤森稻藏
 調劑 員 三上太一郎
 看護婦長 四谷たけ
 醫 員 大須賀宏一
 書 記 國分正禮
 醫 官(園長) 林芳信
 事務 官 石橋伊八
 醫 官 阿部秀直
 同 西原ッボ
 同 淺野滋
 同 池尻慎一
 同 八木英忠
 同 淺野實
 醫 官 補 望月隆三
 同 書 記 永井晃道

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 一七年 六月七日
 二月二十四日
 十月二七日
 八月六日

同 藤森稻造
 同 鳥居善一
 同 國分正禮
 同 本莊平治
 同 護手 三上太郎
 看護婦長 後澤長四郎
 看 護 長 四谷たけ
 書 記 大嶋定重
 醫 官 義江義雄
 調劑 手 渡邊敏雄
 同 書 記 雄

第二 概況

一、敷地 一一四、五五八坪四二三

内

園敷地 一一四、二〇八坪八六〇

患者一時溜所敷地 四九坪五六三

二、建物坪數 二〇六棟 六、一五四坪六

内 譯

番 號	種 別	構 造	建 坪	價 格	建 設 年 月	備 考
一	事務所建	木造二階建	三、九六〇	四〇一、三三三	昭和九一	
二	事務本館	木造平家建	一五、四〇〇	三、〇七〇	昭和九一	
三	應接所	全	三、〇〇〇	二、一〇〇	大正一五	
四	職員昇降口	全	三、〇〇〇	二、四〇〇	昭和四三	
五	治療室	全	九、〇〇〇	八、四七〇	全	
六	醫局圖書室	全	二四、〇〇〇	二、一六〇	全	
七	看病人控室並浴場	全	五、一〇〇	四、五九〇	大正七	昭和八三模樣替

八	藥局	木造平家建	八〇、五〇〇	九、六〇〇	昭和一二	
九	第一試驗室	全	一八、〇〇〇	一、九八〇	全	
一〇	第二試驗室	全	二四、〇〇〇	二、六四〇	全	
一一	診察室	全	四、〇〇〇	四、六三〇	全	
一二	手術室	全	一三、〇〇〇	一、九五〇	大正二七	
一三	解剖室	全	三、〇〇〇	一、九六〇	昭和四三	
一四	一、二號病棟	全	一五、〇〇〇	二、六五〇	大正二七	
一五	三、四號病棟	全	一九、五〇〇	三、〇三〇	昭和三一	
一六	五號病棟	全	七、〇〇〇	六、三〇〇	全	
一七	六號病棟	全	四、〇〇〇	四、五〇〇	大正七一	
一八	七號病棟	全	三、八〇〇	四、一〇〇	大正二〇	
一九	八號病棟	全	四〇、〇〇〇	二、八〇〇	明治四二	
二〇	九號病棟	全	六〇、〇〇〇	六、六〇〇	昭和六五	
二一	十號病棟	全	六〇、〇〇〇	六、六〇〇	全	
二二	三井重症病棟	全	六〇、〇〇〇	七、二〇〇	全	
二三	恩賜重症病棟	全	五〇、五〇〇	六、八四〇	全	
二四	交際場所	全	一三五、〇〇〇	二、七五〇	明治四二	
二五	患者帶交換場所	全	一三五、〇〇〇	一〇、八〇〇	明治四二	
二六	注射場	全	二六、〇〇〇	三、三六〇	昭和二四	

六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六
董	第三	第二	第一	紅	桐	葵	雙	葛	草	三井	三井	三井	多	利	秋	栗	桔	杜
舍	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
四、〇〇〇	一、八〇〇	三、五〇〇	六、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	三、九〇〇	一、六〇〇	三、九〇〇	三、一〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
四、一四〇〇	一、四〇〇	二、四八五	六、三〇〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	一、六〇〇	四、二二〇	三、四一〇	四、八四〇	四、八四〇	四、八四〇	四、八四〇	四、八四〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	昭和一八	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全 一一二	明治四二	大正三八	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	昭和一八	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三	全 一三三

二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五
事務分館	外來面會所	娛樂室	櫻	椿	桃	梅	藤	柏	橘	柳	桂	杉	竹	葛	百	萩	薄	菊
館	所	室	室	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍
木造二階建	木造平家建	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三、二五	一、四二五	一、六〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
四、四二五	一、七三〇	一、七六〇	三、九六〇	四、〇〇〇	三、九六〇	三、九六〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇
全 一〇一〇	昭和一四	全 一三〇	大正七一	昭和七二	昭和七二	全	昭和七二	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全 一〇一〇	昭和一四	全 一三〇	大正七一	昭和七二	昭和七二	全	昭和七二	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	住	八ノ九	八ノ八	八ノ七	八ノ六	八ノ五	八ノ四
全	判	全	全	全	全	全	全	全	全	高等官官舎	住宅建	静友寮	日赤寮	全生常會事務所	榛名城舎	赤城舎	天城舎
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	平家建	二四棟	全	全	全	全	全	木造平家建
一六、五〇	六八、〇〇	三四、〇〇	一六、五〇	二〇、〇〇	二二、五〇	二〇、〇〇	二五、二五	三三、〇〇	三三、〇〇	四八、〇〇	八九、三五	三二、七五	二五、〇〇	二〇、五〇	一三、五〇	一三、五〇	一三、五〇
一、九八〇、〇〇	六、二〇〇、〇〇	三、〇六〇、〇〇	一、九八〇、〇〇	二、四〇〇、〇〇	二、一五〇、〇〇	二、四〇〇、〇〇	三、〇三〇、〇〇	五、六一〇、〇〇	五、六一〇、〇〇	八、六四〇、〇〇	九四、四〇〇、〇〇	五、〇〇〇、〇〇	四、七〇〇、〇〇	三、四八五、〇〇	九六二、五〇	九六一、五〇	九六一、五〇
昭和三一〇	明治四二〇	大正七八	全三〇	昭和一一〇	大正三八	全一四三	全	全	全	全一五三		全一七九	全一七一	全	全	全	昭和三一〇

八ノ三	八ノ二	八ノ一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	
妙	筑	秩	相	女	藤	祥	松	樺	美	圖	敦	芙	山	栞	柿	檜	檜	櫻	
義	波	父	談	醫	蔭	風			加	書	育	蓉	吹						
舎	舎	舎	所	寮	寮	寮	舎	舎	寮	館	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	木造平家建
一三、五〇	二五、〇〇	二五、〇〇	六、〇〇	一〇、一〇	一八、五〇	三三、七五	六一、〇〇	六一、〇〇	一一、五〇	四五、五〇	七〇、二五	四四、〇〇	四四、〇〇	四三、〇〇	四三、〇〇	四三、〇〇	四三、〇〇	四三、〇〇	四四、〇〇
九六二、五〇	一、八二五、六六	一、八二五、六六	四八〇、〇〇	八〇八、〇〇	一、八五〇、〇〇	二、二二五、〇〇	六、七二〇、〇〇	六、七二〇、〇〇	一、四〇〇、〇〇	五、〇〇五、〇〇	四、四〇〇、〇〇	四、四〇〇、〇〇	四、四〇〇、〇〇	四、三〇〇、〇〇	四、三〇〇、〇〇	四、三〇〇、〇〇	四、四〇〇、〇〇	四、四〇〇、〇〇	四、四〇〇、〇〇
全八四	全七四	全八一〇	全一四九	全一八一	全一九七	全三三	全二二	全二二	全一〇九	全二二	全六一	全三	全三	全六	全六	全五	全	全	昭和三一〇

一〇七	事務倉庫(1)	木造平家建	三六、七五	三、一〇〇・〇〇	明治四二	
一〇八	全	全	二六、〇〇	二、一〇〇・〇〇	全	
一〇九	炊事倉庫(3)	全	二五、〇〇	二、〇〇〇・〇〇	全	昭四二
一一〇	全	全	二〇、〇〇	一、〇〇〇・〇〇	全	昭四二
一一一	全	全	一〇、〇〇	四〇〇・〇〇	大正七五	
一一二	全	全	一五、〇〇	七五〇・〇〇	昭和三一〇	
一一三	全	全	七、五〇	二六二・〇〇	全	昭八五
一一四	漬物倉庫(4)	全	四一、〇〇	五、五八〇・〇〇	全	昭一四九
一一五	倉庫(山)	全	二一、〇〇	二、一〇〇・〇〇	全	大正六一
一一六	寢具倉庫(3)	全	一〇、〇〇	七〇〇・〇〇	全	大正三六
一一七	倉庫	全	一五、〇〇	七〇〇・〇〇	全	昭七五
一一八	神社倉庫	全	六、〇〇	三六〇・〇〇	昭和九五	
一二九	便所(事務)	木造平家建	三、七五	三、七五・〇〇	全	全九二
一三〇	便所(應接)	全	一、〇〇	一〇〇・〇〇	全	全九二
一二一	便所(應接)	全	二、〇〇	二〇〇・〇〇	全	大正二五八
一二二	渡廊下	全	二、〇〇	二〇〇・〇〇	全	全
一二三	渡廊下(事務)	全	二、五〇	二五〇・〇〇	昭和九二	
一〇七	雜屋建	七八棟	一、三三、一〇	一一、〇六、〇〇		

九二	全	平家建	一六、五〇	一、九八〇・〇〇	全	昭一〇二
九三	全	全	一六、五〇	一、九八〇・〇〇	全	全三一
九四	全	全	一六、五〇	一、九八〇・〇〇	全	全三一〇
九五	全	全	一六、五〇	一、九八〇・〇〇	全	全一〇二〇
九六	全	全	八一、〇〇	八、四九〇・〇〇	大正三八	
九七	履備員官舎	全	六〇、〇〇	四、八〇〇・〇〇	昭和一一〇	
九八	全	全	二九、五〇	二、三六〇・〇〇	全	全三一〇
九九	全	全	三〇、〇〇	二、七〇〇・〇〇	大正三三	
一〇〇	全	全	三〇、〇〇	三、〇〇〇・〇〇	昭和三一	
一〇一	全	全	四三、五〇	三、八二五・〇〇	明治四三	昭八二増築
一〇二	全	全	三三、五〇	二、九二五・〇〇	明治四三	
一〇三	全	全	二八、〇〇	二、八〇〇・〇〇	昭和八二	
一〇四	全	木造二階建	八四、〇〇	三、六〇〇・〇〇	全	全一四三
一〇五	工場建	一棟	二四、〇〇	二、四〇〇・〇〇	全	全八一〇
一〇五	精米精麥場	木造平家建	二四、〇〇	二、四〇〇・〇〇	全	全八一〇
一〇六	倉庫建	一三棟	二五、二五	二、四三〇・〇〇	昭和四四	昭一〇〇増築
一〇六	自動車庫	木造平家建	一八、〇〇	二、一六〇・〇〇	昭和四四	昭一〇〇増築

一四四	便所 (六七號)	全	木造平家建	三、五〇	一七五・〇〇	全	七
一四五	全	全	全	三、五〇	一七五・〇〇	全	二一〇
一四六	渡廊下 (七八號)	全	全	九、〇〇	四五〇・〇〇	全	昭和二一
一四七	全 (九號診察室)	全	全	三、〇〇	一八〇・〇〇	全	昭和二一
一四八	動物小屋標本置場	全	全	一三、〇〇	四二〇・〇〇	全	昭和二一
一四九	動物飼育舎	全	全	一四、〇〇	四九〇・〇〇	全	昭和二一
一五〇	監禁及謹慎室	全	全	一七、〇〇	二二〇・〇〇	全	大正二六
一五一	監視所	全	全	五、〇〇	四〇〇・〇〇	全	昭和二一
一五二	ガスタンク置場	全	全	三、〇〇	三九〇・〇〇	全	昭和二一
一五三	患者浴場(藥湯)	全	全	二、五〇	一六〇・〇〇	全	大正二六
一五四	男子患者浴場	全	全	四一、二五	三、三〇・〇〇	全	全
一五五	女子患者浴場	全	全	三五、〇〇	二、八〇・〇〇	全	昭和二一
一五六	消毒器具置場	全	全	八、〇〇	五六〇・〇〇	全	昭和二一
一五七	便所(作業場)	全	全	一、〇〇	八〇〇・〇〇	全	大正三二
一五八	患者食品配給所	全	全	三五、〇〇	四、二〇〇・〇〇	全	昭和二一
一五九	配食器消毒所	全	全	八、二五	九九〇・〇〇	全	昭和二一
一六〇	便所(面談所)	全	全	一、五〇	八〇〇・〇〇	全	大正七
一六一	理髮會場	全	全	二五、〇〇	三、〇〇〇・〇〇	全	昭和二一
一六二	全生會館	全	全	四九、七五	六、〇五〇・〇〇	全	昭和二一

一二四	全 (事務倉庫)	全	木造平家建	三、〇〇	七五・〇〇	全	明治四二
一二五	全 (事務醫局)	全	全	二、七五	一、〇七・〇〇	全	昭和二一
一二六	便所(相談所)	全	全	一、六〇	八〇〇・〇〇	全	昭和二一
一二七	物置(事務)	全	全	八、〇〇	五六〇・〇〇	全	昭和二一
一二八	門衛所	全	全	一三、七五	九六二・〇〇	全	明治四二
一二九	消毒所(外來用)	全	全	七、〇〇	七〇〇・〇〇	全	大正二九
一三〇	浴室及更衣室	全	全	二、〇〇	二、四〇〇・〇〇	全	昭和二一
一三一	渡廊下(處方室)	全	全	二、〇〇	一〇〇・〇〇	全	昭和二一
一三二	全 (洗濯所)	全	全	五、五〇	三三〇・〇〇	全	昭和二一
一三三	全 (浴室)	全	全	四、五〇	一一〇・〇〇	全	大正七二〇
一三四	全 (看護人控室)	全	全	三、〇〇	一五〇・〇〇	全	昭和二一
一三五	全 (材料室)	全	全	三、〇〇	一〇〇・〇〇	全	昭和二一
一三六	全 (試驗室)	全	全	二、〇〇	一〇〇・〇〇	全	昭和二一
一三七	全 (試驗室)	全	全	三、〇〇	一五〇・〇〇	全	昭和二一
一三八	醫局洗濯所	全	全	一六、〇〇	一、六〇〇・〇〇	全	昭和二一
一三九	渡廊下(手術室)	全	全	二、〇〇	八〇〇・〇〇	全	大正二七
一四〇	全 (治療室)	全	全	二〇、五〇	一、〇六〇・〇〇	全	昭和二一
一四一	全 (三號病室)	全	全	三、〇〇	二二〇・〇〇	全	昭和二一
一四二	全 (二號病室)	全	全	八、〇〇	二四〇・〇〇	全	大正二一〇
一四三	全 (六號病室)	全	全	七、〇〇	三五〇・〇〇	全	昭和二一〇

一八二	患者洗濯所	木造平家建	三、五〇〇	二、五〇〇・〇〇	全	一四九
一八三	普通乾燥場	全	一〇、〇〇〇	七〇〇・〇〇	全	九五
一八四	蒸氣消毒及乾燥場	全	一四、〇〇〇	一〇、〇八〇・〇〇	全	五九
一八五	汽罐室	全	六五、五〇〇	四、五八五・〇〇	大正三二	三二
一八六	火夫宿直室	全	六、〇〇〇	五〇〇・〇〇	全	四九
一八七	光の鶏舎	全	七、五〇〇	五二〇・〇〇	昭和四九	
一八八	汽罐場物置	全	三、〇〇〇	四八〇・〇〇	大正三二	
一八九	汽罐場物置	全	八、〇〇〇	六四〇・〇〇	昭和五三	
一九〇	蒸氣ポンプ室	全	六、〇〇〇	三〇〇・〇〇	全	四二
一九一	電氣室	全	七、五〇〇	一、二五〇・〇〇	全	六二
一九二	物置場(木炭)	全	一八、〇〇〇	三六〇・〇〇	明治四〇	一〇
一九三	炊事場	全	七、五〇〇	九、四五〇・〇〇	昭和二三	三三
一九四	患者炊事場	全	二〇、〇〇〇	二、六〇〇・〇〇	全	三三
一九五	便所(炊事場)	全	一、〇〇〇	七〇〇・〇〇	大正二	
一九六	食堂	全	二、二五〇	二、一六〇・〇〇	昭和五一	一
一九七	官舎共同浴場	全	一五、〇〇〇	一、〇五〇・〇〇	明治四〇以後二回増築	
合計	二〇六棟		六、一五四、六〇〇	六三二、六三三・三		

一六三	神社	木造神明造	一、〇〇〇	二、〇〇〇・〇〇	全	九五
一六四	火葬場	木造平家建	三、〇〇〇	九〇〇・〇〇	大正三二	
一六五	肥料小屋	全	四〇、〇〇〇	一、六〇〇・〇〇	昭和二	
一六六	納骨堂	鐵筋混凝工	四、〇〇〇	五、二〇〇・〇〇	全	一〇六
一六七	物置(栗舎)	木造平家建	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	三二〇
一六八	全(櫻舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	
一六九	全(橙舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	
一七〇	全(檜舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	昭和六五	
一七一	全(柿舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	
一七二	全(棗舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	
一七三	全(山吹舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	三二〇
一七四	全(芙蓉舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	
一七五	全(松舎)	全	二、〇〇〇	一〇〇・〇〇	全	三四
一七六	便所(圖書館裏)	全	一、五〇〇	七〇・〇〇	全	七
一七七	園藝部詰所	全	一一、二五〇	八二〇・〇〇	全	四九
一七八	禮拜堂	全	一三、二五〇	三、七六〇・〇〇	大正四二	
一七九	禮拜堂附屬物置	全	一五、〇〇〇	一、二〇〇・〇〇	昭和四九	
一八〇	便所(禮拜堂)	全	二、〇〇〇	二四〇・〇〇	全	六五
一八一	全(禮拜堂北)	全	一、五〇〇	八〇・〇〇	全	二

備考	事務所建	九〇棟	三、九三六坪〇〇	四〇二、三七三圓三三
	住宅建	二四棟	八一九坪二五	九四、四〇〇圓
	工場建	一棟	二四坪	二、四〇〇圓
	倉庫建	一三棟	二五四坪二五	二一、四二二圓
	雜屋建	七八棟	一、二二二坪一	一一一、〇七八圓

三、職 員 (年末現在)

① 官制ニ依ル職員

園長	林芳信	同	藤森稻藏
事務官 庶務課長	石橋伊八	同	鳥居善一
醫官 醫務課長	阿部秀直	同	國分正禮
醫官	西原ツボミ	同	渡邊敏雄
同	義江義雄	同	大嶋定重
同	池尻慎一	調劑手	本莊平治
同	八木英忠	同	三上太一郎
同	淺野	同	日影西雄
醫官 補	淺野	看護長	後澤長四郎
書記	永井晃道	看護婦長	四谷たけ

② 囑託及雇傭員

囑託	三	守衛	一
雇傭員	九	火夫	三
指 導 員	一	看護助	一〇
調劑手	二	洗滌士	一
看護婦	一四	裁縫婦	二
看護婦	一	交換手	一
機關手	一	小使	五
電氣士	一	給仕	一
司 廚	一	掃除婦	一
司 廚	九	雜仕	二

四、收容患者定員及現在數

定 員	一、二〇〇人
年末現在數	一、四一八人 (男) 九六六人 (女) 四五二人

五、本年中ニ於ケル重要事項

二月十八日 第一回戰勝祝賀式ヲ舉行、職員、患者並ニ地元町民參列ス

二月二十八日 本國慰安會基金募集ノ爲東京神田共立講堂ニ於テ大演藝會ヲ開催ス
 三月十二日 第二次戰勝祝賀式ヲ舉行、職員、患者並ニ地元町民參列ス
 三月三十日 海軍造船少將岩野直英氏來國禮拜堂ニ於テ講演セラル
 四月 四日 看護婦講習所入所式ヲ舉行ス
 四月八日九日 春季患者慰安芝居ヲ開演、近隣町村ヨリノ來觀者一日約六百盛會ヲ極メタリ
 五月三日五日 全國立癩療養所長會議ヲ厚生省ニ開催、本國ヨリ林園長、阿部醫務課長出席ス
 五月十三日 長クモ 皇太后陛下ヨリ棉種子ヲ御下賜アラセラル
 五月十四日 三井報恩會理事長米山梅吉氏、全參事横田忠郎氏來國視察患者慰籍ノ爲メ金一封ヲ寄贈セララル
 五月十八日 定例春季慰靈祭執行、淺草本願寺副輪番長島賢正師和光囑託中山大忍布教師外高僧四名臨場開院以來ノ死亡患者二、〇四八名ニ對スル法要ヲ嚴修セリ
 五月二十三日 東村山町氷川神社武內社掌ニヨリ永代神社例祭ヲ執行、來賓トシテ久野東村山町長代理助役、田中東村山警防團長、外多數參列セラル
 六月 九日 日蓮宗々務院ヨリ興亞局長河田行誠師外高僧六名小野鍊雄布教師ノ案内ニテ來園、大施餓鬼法要ヲ執行、引續キ河田師ノ法話アリタリ
 六月十四日 俳句大運座會ヲ開催、ホト、ギス同人柏崎夢香氏地元ヨリ田口秋思堂、桎田吟兒、石橋一甫諸氏始メ初音會、芽生會同人二百餘名參集盛會ヲ極メタリ
 六月二十日 弘法大師誕生青葉祭執行、高野山東京別院ヨリ大槻榮光僧正、蓮眞猛僧正外高僧六名、東京金剛講員十一名、中山大忍布教師案内ニテ臨場法要ヲ嚴修シ、大槻僧正ノ法話アリ 全夜眞言宗寄贈ノ映畫會ヲ催シタリ
 六月二十一日 本國慰安會基金募集ノ爲兩國々技館ニ於テ大演藝會ヲ開催セリ
 六月二十二日 齋藤劉氏來國禮拜堂ニ於テ講演セラル
 六月二十五日 皇太后陛下御誕辰奉祝式ヲ舉行ス

七月八日九日 厚生省ニ於テ全國立癩療養所庶務課長會議、全醫務課長會議開催セラレ 石橋庶務課長、阿部醫務課長鳥居書記出席ス
 七月十六日 私立慰靈園解散ニ關スル第一回打合會ヲ本園ニ於テ開催、警視廳ヨリ川島警部外一名慰靈園ヨリ藤原鈎次郎氏外一名來園ス
 七月二十一日 皇太后陛下御寫眞奉安所地鎮祭ヲ東村山町氷川神社武內神職外一名奉仕ノ下ニ執行ス
 七月二十四日 北多摩郡佛教聯合會主催慰靈祭ヲ執行、清瀬村全龍寺住職武田勝一師ノ案内ニテ曹洞宗々務院ヨリ細川告罪山師外一名近隣寺院ヨリ高僧多數臨場法要ヲ嚴修ス
 八月 五日 私立慰靈園解散ノ爲メ本園石橋事務官以下職員十九名全國ニ出向、全患者五十五名ヲ一齊收容ス
 九月十一日 厚生省青柳豫防課長大久保技師、長谷川屬來園視察セラル
 九月十二日 東京府草間衛生課長外四名來園視察セラル
 九月二十二日 靜岡縣有志寄附ノ療舎靜友寮落成式ヲ舉行、寄附者代表飯野十造氏外四名、三井報恩會大畑主事外一名參列、式終了後靜岡縣有志寄贈ノ演藝アリ
 九月二十五日 大日本佛教眞理運動主幹友松圓諦師、全婦人會員十一名來園友松師ノ講演アリ
 十月二十日 秋季慰靈祭執行、和光囑託布教師ノ案内ニテ東本願寺布教師千原勇師外高僧三名、中山囑託布教師臨場セラレ開院以來ノ死亡患者二、一〇九名ニ對スル慰靈法要ヲ嚴修ス
 十月二十三日 日蓮宗御會式執行、日蓮宗々務院ヨリ教學部長久保田正文師外七名ノ高僧、小野鍊雄囑託布教師ノ案内ニテ臨場法要ヲ嚴修、引續キ貴族院議員井上清純氏ノ講演アリ
 十月三十一日 秋季俳句大運座會開催、ホト、ギス全人柏崎夢香氏、地元ヨリ田口秋思堂、小暮輝晴、桎田吟兒諸氏出席、職員初音會全人、患者芽生會全人二百餘名參集シ盛會裡ニ終了ス
 十一月二日 慰安會主催、全會ノ基金募集ノ爲メ大相撲ヲ靖國神社境内ニテ開催ス
 十一月六日 眞宗報恩講執行、淺草本願寺ヨリ朝倉諒事師外一名和光囑託布教師案内ニテ臨場法要ヲ嚴修、夜ハ全寺寄贈ノ映畫ノ夕ヲ催ス

十一月十日 「御惠の日」記念式ヲ職員患者全員禮拜堂ニ參列舉行ス
 十一月十一日 短歌大會開催、若林牧春氏來園セラレ武藏野短歌會員多數出席ス
 十一月十八日十九日二十日二十一日 第十五回患者慰安農産物品評會ヲ十八日ヨリ四日間ヲ會期トシ開催シタルニ決
 戦下農村ノ勞力、肥料等不足ノ際ニモ不拘地元東村山町ヲ始メ久留米、小平、松井、清瀬、片山、所澤等十數ヶ町
 村ノ出品九四三點ニ達シ二十一日審査長東京府農會前田孝二郎技師、各町村農會長、農事世話人等多數參列褒賞授
 與式ヲ舉行ス

十二月三日 防火日第三日ニ際シ警防團ニ賜リタル令旨捧讀式ヲ舉行、田無警察署長代理古谷警部補、外二名田
 中東村山警防團長、嶋田全副團長外全幹部六名參列アリ
 十二月八日 大東亞戰爭勃發一周年記念式ヲ舉行、聖旨ヲ奉體シ銃後奉公ノ信念ヲ固メタリ
 十二月二十一日 クリスマス祝會開催、東京好善社藤原主事、貴山牧師、後藤氏外三名來園盛會裡ニ終了ス

職員異動

六月 七日 命多磨全生園勤務
 十二月十九日 依願免本官
 (東北新生園)書記 渡邊敏雄
 書 記 望月隆三

本年中ニ寄附並竣工シタル建物

九月十五日竣工(寄附) 輕症病棟(靜友寮) 一棟 木造スレート葺平家建 二二坪七五
 十一月三十日竣工 御寫眞奉安所 一基 神殿造

六、主ナル年中行事

一月 一日 新年祝賀式
 同 上旬 警防始觀閱式
 二月 十一日 紀元節
 三月 三日 雛祭

同 十日 陸軍記念日
 同 二十一日 春季皇靈祭
 同 下旬 看護婦講習所卒業式
 同 同 學園卒業式
 同 同 常會役員選舉
 同 四月 三日 神武天皇祭
 同 八日 釋尊降誕祭
 同 上旬 短歌會
 同 同 春芝居
 同 同 天長節
 同 二十九日 端午節句・俳句大會
 五月 五日 春季清潔法施行
 同 同 春季慰靈祭
 同 同 春季慰靈祭
 同 同 中旬 碁將棋大會
 同 同 永代神社祭典
 同 同 二十三日 海軍記念日
 同 同 二十七日 施俄鬼(日蓮宗)
 六月 上旬 青葉祭(弘法大師降誕祭)
 同 同 二十日 皇太后陛下御誕辰記念週間
 自同 同 二十日 皇太后陛下御誕辰祝賀式
 至同 同 廿六日 皇太后陛下御誕辰祝賀式
 同 同 二十五日 國內野球對抗試合
 同 同 下旬

七月 一日 移管記念日
 同 七日 七夕祭
 自同 同 十二日 夏季農産物品評會
 至同 同 十六日 施餓鬼(曹洞宗)
 七月 二十四日 震災記念日
 同 同 二十四日 秋季皇靈祭
 同 同 下旬 俳句會
 同 同 三十日 會長選舉
 同 同 月上旬 秋季芝居
 同 同 上旬 秋季清潔法施行
 同 同 十六日 秋季慰靈祭
 同 同 十七日 神嘗祭
 同 同 中旬 碁將棋大會
 同 同 秋季運動會
 同 同 二十三日 御會式
 同 同 十一月三日 明治節
 同 同 七日 報恩講
 同 同 十日 皇太后陛下御下賜金記念式(御惠の日)
 十一月 中旬 農産物品評會
 同 同 二十三日 新嘗祭

十二月上旬 防火日
 同 十四日 義士祭
 同 二十五日 大正天皇祭
 同 下旬 クリスマス祭

每月定例行事
 每月八日 大詔奉戴日
 同 十六日 防空訓練日
 同 一回 葬儀(眞宗)
 同 二十八日 各宗教布教
 園内清掃日

第三 經費

一、各年度歳出豫算

區分	經常部		臨時部		合計
	國立癩療養所	計	軍人援護費	臨時家族金屬類特別費	
昭和十七年度	俸給 五七,九四八 事業費 一〇九,一五九 患者費 二八,〇七三	計 四八,一六〇	軍人援護費 三,五五五 臨時家族金屬類特別費 九,七五五	臨時家族金屬類特別費 一,五二一	計 三,〇〇〇
			臨時家族金屬類特別費 一,五二一	新營費 一七,八八二	計 一七,八八二
					合計 四六六,〇四三

二、各年度歳出決算

區分	經常部		臨時部		合計
	第一區府縣立全生病院費	諸支出金	軍人援護費	臨時家族金屬類特別費	
昭和十六年度	俸給 三六,〇五五 事業費 一七九,四六一	計 二五五,四六一	軍人援護費 三,五八五 臨時家族金屬類特別費 九,七〇九	臨時家族金屬類特別費 九,七〇九	計 一三,二九四
			臨時家族金屬類特別費 九,七〇九		合計 四八四,二六〇

三、患者一人當經費

年次	經常部決算		臨時部決算		合計
	總額	一日當人	總額	一日當人	
昭和十二年度	三〇九,四九三	六六六	二八,六六六	〇六三	四三三,四八八
昭和十三年度	三二五,〇四二	七〇〇	三〇,九三二	〇六九	四四三,八八〇
昭和十四年度	三二八,八七九	七〇二	三〇,一三六	〇六八	四四一,九八〇
昭和十五年度	三五四,一九六	七九八	二四,七六五	〇五五	四四三,七六八
昭和十六年度	四七〇,九六六	九六三	三三,七三三	〇七三	四八六,六六〇

第四 治療

現今癩ノ治療薬トシテ推奨スベキモノハ大風子油ナリ、本園ニ於テハ厚生省衛生試験所製ノモノヲ使用ス、即チコレヲ加熱消毒シ腎筋肉内或ハ上膊、大腿等ノ皮下ニ一回二、〇一五、〇ccヅ、一週三回注射シ一ケ年百回一、二、三十回ニ及ビ之レヲ繼續ス、又注射ヲ行ヒ得ザルモノニハ本油ヲ錠劑トシテ内服セシム、内服ニ際シテハ胃障碍ヲ起シ易キヲ以テ少量ヨリ初メ漸次増量シテ一日數瓦ニ至リ持續セシム。

大風子油ノ效果ニ就テハ既ニ周知セラル、處ニシテ斑紋、結節、浸潤等ノ吸收消失、潰瘍ノ治癒、眉毛、頭髮ノ再生等臨床ニ著明ノ快癒ヲ認ムルノミナラズ體內ニ於ケル癩菌モ亦破壊消滅シ初メ無數ノ癩菌ヲ證明シタル病竈モ遂ニハ菌ヲ認メ得ザルニ至ル、然レドモ斯ル好結果ハ主トシテ早期患者ニ見ル處ニシテ發病後既ニ數年、或ハ十數年ヲ經過シタル陳舊重症者ニハ多クヲ期待シ得ザルヲ遺憾トス。

從ツテ本病ノ治療ハ早期ニ行フコト最モ肝要ニシテ近時之レニヨリテ輕快退園ノ歡ビニ至ルモノ漸ク多キヲ加ヘントシ

ツ、アリ、本年中ノ輕快退園者ハ十八名ヲ算セリ。

大風子油以外ノ藥品ニ就テモ種々使用研究シツ、アリテ其内近時使用セルモノノ一ツニ白金及ビ「パラジウム」ノ電氣コロイド溶液アリ、本劑ハ組織内ノ酸化機能ヲ旺盛ナラシメテ以テ病原ニ對スル防禦力ヲ増強シ疾病ヲ治癒ニ導カントスルモノニシテ癩特別ノモノニハアラザルモ然シ本劑ノ皮下或ハ靜脈内注射ニヨリテ初期斑紋ノ比較的容易ニ吸收スルコト及初期神經麻痺モ比較的ヨク恢復スルヲ認メタルモノアリ。

次ニ患者ニ對スル日常ノ治療的處置ノ概況ニ就テ述ベンニ本園ニ於テハ患者ヲ收容スルヤ始メノ數日間ヲ防疫的意味ニ於テ收容患者病室ニ居ラシメ、癩ノ各症狀及ビ其ノ他ノ傳染性疾患、合併症等ノ有無ヲ檢診シ然ル後其ノ症狀ニ應ジテ或ハ一般患者ト共同生活ニ入ラシメ或ハ重症患者病室ニ移ス等夫々適當ナル處置ヲ講ズ。

一般入園患者ノ診療ハ醫官及ビ醫官補七名ノ醫師ニヨリテ分擔シ便宜上内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、物理療法科、齒科口腔科、繃帶交換科等ニ分テリ。

内科ニ於テ多ク見ル病症ハ癩菌ノ破壞吸收スル時ニ發スル癩性結節性紅斑ニシテ同時ニ神經痛、關節痛等ヲ併發スルコト多シ、本症ハ患者間ニ於テ「熱癩」ト唱フルモノニシテソノ經過ハ數週ヨリ永キハ年餘ニ五リ煩ハシキ發疹、發熱ヲ反覆シ爲ニ身體衰弱シテ結核性疾患ヲ誘發シテ死ノ轉期ヲトルコトアリ。本症ニ對スル療法トシテハ輕症ナル者ニハ三%クロールカルシウム液ノ靜脈内注射ヲ毎日行フコトニ依リテ良好ノ結果ヲ來スコトヲ得。近時本症ノ重症ニシテ高熱ノ繼續スルガ如キ者ニ對シ「ネオ・ステバルサン」〇・一五—〇・三ノ靜脈内注射ヲ行ヒテ屢々好結果ヲ收メツ、アリ。又激烈ナル關節痛ヲ伴フ場合ニハ「銀エレクロイド」ノ皮下又ハ靜脈内注射ヲ施シテ相當效果ヲ認メツ、アリ。癩性神經痛モ亦屢々來ル症狀ニシテ患者ノ最大苦痛トスルモノナリ、此ノ療法ハ局所療法、鎮痛劑、鎮靜劑ノ内服或ハ「テトロドキシリン」「アンチピリン」等ノ皮下注射「クロールカルシウム」ノ靜脈内注射「ノボカイン」ノ神經幹内注射等ニヨリテ概ネ好結果ヲ得ルナリ、更ニ近時之等ニ赤外線療法ヲ併セテ試ミツ、アリ。「モルヒネ」等ノ麻醉藥ハ一時的ノ鎮痛作用アルモ習慣性トナリ、中毒性ニ陥リ易ク患者自身ノ不幸タルノミナラズ甚シキニ至リテハ療養所内ノ秩序ヲ亂シ一般社會ノ安寧ヲ害スルニ至ルノ惧レアルヲ以テ本園ニ於テハ「モルヒネ」類ノ使用ヲ嚴禁セリ。

其ノ他ノ内科的疾患トシテハ結核性諸疾患ノ外癩性腎臟炎ヲ屢々見ル、本症ハ患者ノ死因中重用ナルモノナリ。

外科的治療ノ大ナルモノハ繃帶交換ナリ。癩結節或ハ浸潤ノ崩壞ニヨリテ生ズル癩性潰瘍ノ處置ハ大多數ノ患者ニ就テ行ハザルベカラズ。斯ル患者ハ日々數百人ニ及ブ。癩性潰瘍足穿孔症ニ對シテ、リパノール、沃度ホルム、或ハ種々ノ軟膏類ヲ症狀ニ應ジテ使用ス。

又人工太陽燈ノ照射モヤ、見ルベキ效果アリ、手術ヲ要スル患者モ亦多數ニシテ喉頭ノ癩結節又ハ浸潤腫脹ニヨル狹窄ハ窒息死ヲ招ク危險アルヲ以テ氣管切開手術ヲ行ヒテ之ヲ救フコト屢々ナリ、漂疽、火傷、足穿孔症等ノ爲ニ手足骨ノ壞疽ヲ來セルモノハ之ヲ除去セザルノミナラズ、時ニハ下腿ノ切斷手術ヲ要スルモノ亦尠カラズ、然ラズシバ全身ノ敗血膿毒症ヲ惹起スルノ惧アレバナリ。又神經ノ浸潤肥厚シテ激烈ナル神經痛ヲ來セル場合ハ神經鞘剝離手術ヲ施シテ良好ナル結果ヲ得ツ、アリ。

眼科的疾患トシテハ癩性角膜炎、外鞏膜炎、虹彩毛様體炎、續發性白內障等多ク爲ニ失明ニ陥ル者モ尠カラズ從ツテ是等ニ對スル處置ハ極メテ必要ナリ。就中虹彩切除手術ハ瞳孔閉鎖症及ビ角膜濁濁ノ瞳孔領ヲ覆ヘル場合ニ推奨スベキ手術ナリ。

失明統計

性 別	收容患者數	失 明 者 數	
		結 節 癩	神 經 癩
男	九六六	一三九	六
女	四五二	七三	四
計	一、四一八	二二二	一〇

備考 失明者ハ兩眼共一米ノ距離ニ於テ指數ヲ辨シ得ザル程度以下ノモノ。

鼻腔咽喉ノ粘膜炎ノ好發部位ナリヲ以テ耳鼻咽喉科的治療モ亦忽ニスルヲ得ザルナリ、鼻翼或ハ鼻腔内ノ癩性潰瘍浸潤ニヨル鼻道ノ崩潰或ハ狹窄、閉鎖又ハ咽喉狹窄等ニヨル呼吸障害、之等諸症ニ續發シ易キ慢性中耳炎等ハ最モ多キ

病症ナリ、之等ニ對シテハ夫々一般的ノ適當ナル處置ヲ施シツ、アリ。
 右ノ如キ診療上重症ニシテ特別ナル加療ヲ要スルモノハ重症舍病室ニ入ラシム、重症室ハ十一室約二百床ヲ有シ夫々
 擔任ノ醫員、看護婦ヲ定メテ一般病院ニ於ケル入院治療ノ如クシ、尙輕症患者ヲ附添ハシメテ服藥衣食其他看護ノ補助
 ヲナサシメツ、アリ。

第五 患者ノ生活狀態

本國ニ收容セル患者(一、四一八名十二月末日現在)ハ五十二病舍ニ分住セシム、概ネ一舍ヲ四室トシ之ガ一室ハ十二
 疊半ニシテ六、七名ノ患者ヲ容ル、少年舍及家族舍ハ一般ト異ナリ八疊乃至十疊ノ室トス。
 然シテ此等五十二舍ヲ輕症舍(三十八舍)、不自由舍(十四舍)ニ大別シ、更ニ輕症舍ヲ男子舍(二十舍、女子舍八舍)
 少年舍(二舍)、少女舍(一舍)家族舍(七舍)ニ區別ス。
 男女輕症舍ハ自治的ノ制度トシ各舍ニ一名ノ舍長(任期一箇年選舉制)ヲ置キ其ノ舍ノ整理、衛生、衣食、作業等ノ
 世話ヲナサシム。

少年少女舍ハ十八歳未満ヲ收容シ各舍ニ寮父母(患者)ヲ置キ少年少女ト同居生活ヲ爲シ訓育ニ當ラシム
 家族舍ハ戸籍上ノ夫婦ヲ同棲セシム、現在ノ家族三十六組ナリ。
 不自由舍ハ盲人及ビ手足不自由ニシテ自用ヲ辨ジ能ハザルモノ、又ハ六十歳以上ノ老人等ヲ收容シ、各室ニ一人若ク
 ハ二人ノ輕症ナル患者ヲ附添ハシメ街食其ノ他ノ世話ヲ爲サシム、現在收容數三六八名ナリ。
 精神病舍ハ別ニ一棟ヲ設ケテ之ヲ收容シ附添人ヲシテ監視介補ニ當ラシム。現在ノ精神病者數男八女六計十四名ナリ
 而シテ一般輕症患者ハ午前八時概ネ治療時間トシ午後八時各種ノ作業ニ從事ス、輕症患者ニシテ重症トナレルモノ又ハ餘
 病併發ノモノハ別ニ設ケタル重症室ニ收容シ恢復後ハ自舍ニ歸舍セシム。
 之等患者ノ大部分ハ長期療養ヲ必要トシ人生ヲ茲ニ終ル者多シ、故ニ彼等ノ療養ノ場所ヲ家トシ皇恩ノ下療養生活五訓
 ヲ借條トシ時局下各作業ニ精勵秩序アル生活ノ中ニ和氣霽々タル一大家族生活ヲ樂シミツ、アリ。

一、現在患者療養期間調 (昭和十七年末現在)

在園年數	男		女		計	在園年數	男		女		計
	男	女	男	女			男	女	男	女	
三〇年以上	六	八	一四	一〇	二四	一四	九	五	一九	二〇	八
二五年以上	四	一	一八	一	一九	一七	八	一〇	二七	二七	八
二〇年以上	二	三	五	三	八	五	七	二	七	七	八
一五年以上	三	三	六	三	九	九	六	四	五	一	四
計	三五	一〇	四五	一六	六一	四六	二六	五二	七二	一	四

一、衣 食

① 被服寢具、患者一人ニ對シ貸與又ハ給與スル被服、寢具ハ左ノ通り定メタルモ戰時下物資需給困難ナル爲メ出來得
 ル限り長期間修補使用セシム

品名	品質	數量	給與別	時期	使用期間	備考
綿入	三河黒綿木綿	一	貸與	十二月	三年	
半纏	同(綿入)	一	貸與	十一月	三年	
衾	スフ交織	一	貸與	十一月	三年	
單衣	綿ネ	二	給與	六月	二年	二年毎ニ一枚貸與
襦袢	綿ネ	一	給與	十月	二年	
肌着(夏)	晒木綿	一	給與	六月	二年	
肌着(冬)	莫大木綿	一	給與	十二月	二年	死亡、退園ノ際ハ返納セシム
猿股(男)	莫大小又ハ天竺木綿	二	給與	十二月	六年	

品名	数量	價格	品目	数量	價格
股引(男)	莫大	小	十二月	二年	
腰卷(女)	夏天竺木綿冬綿ネル		七月	二年	死亡退園ノ際ハ返納セシム
帶(男)	黒又ハ紺モス		七月	二年	女兒ニハ兵兒帶
帶(女)	更綿木綿		七月	二年	付添人ノミニ外一足(一月)
同	平織黒又ハ紺		七月	六月	
足袋	夕オル又ハ規正手拭		七月	六月	
手拭	無晒綾織木綿		七月	六月	
掛布	同		七月	六月	
敷布	同		七月	六月	
大包	同		七月	六月	
小包	同		七月	六月	
枕	同		七月	六月	
枕	同		七月	六月	
覆	同		七月	六月	

備考

- ① 右ノ外重症患者ニハ病衣、附添患者ニハ看護衣、醫局外科場雜役ニハ胸掛、理髮患者ニ胸掛、結髮患者ニ割烹着患者警防圍、少年團、少女團ニハ各團服、投藥運搬及火種配給患者ニ雨合羽、各病棟ニハ蚊帳ヲ貸與ス
- ② 新調被服ハ全患者ニ一齊貸與シ從來使用中ノモノヲ返納セシム
- ③ 貸與期間中ト雖モ甚シク破損シタルモノハ隨時新品若クハ修理品ト交換セシム
- ④ 返納品中修理使用ニ堪ヘ得ルモノハ消毒洗濯修理ノ上次回ニ之ヲ貸與ス
- ⑤ 被服寢具ノ調製及修繕ハ女患者中心得アル者ニ之ヲナサシム
- ⑥ 洗濯ハ各自ニ出來得ルモノノ外ハ洗濯場ニ於テ之ヲ行フ
- ⑦ 入園ノ際携帶ノ私物衣類ハ之ヲ任意使用セシム

食物

(1) 主食

① 普通食 一人一日 (混入米二、二四合) 押麥、九六合) 四四八瓦 (三合二勺)

② 粥食 一人一食 (混入米) 一〇〇瓦 (約七勺)

尙戰時下國策ニ即應シ飢餓食又ハ野菜混飯等ヲ月ニ數回給ス

(2) 副食

① 概ネ野菜ヲ主トシ時々鹽干魚介類及ビ豚、鶏、兔肉ヲ給シ味噌汁ハ毎朝與フ

② 重症患者ノ副食(乙號ト稱ス)ニハ牛乳、鶏卵、砂糖等ヲ増給ス

③ 御馳走日トシテ、祝祭日、本園記念日、宗教上ノ諸儀式當日、其ノ他特殊ノ催アル日ニ於テハ園内飼育ノ豚鶏ヲ調理シ又ハ鮮魚或ハ園内調製ニ依ル菓子等ヲ給與ス

尙間食トシ果物、菓子、甘藷等ヲ給スルコトアリ

④ 患者ノ手ニ依リ園内ニ於テ生産セル主ナルモノハ野菜類、牛乳、鶏卵、豚肉、鶏肉等ニシテ患者慰安會ノ手ヲ經テ園ニ於テ之ヲ購入シ患者ニ給與ス

本年中ニ生産供給シタル額ヲ表示セバ左ノ如シ

品目	數量	價格	品目	數量	價格
野菜類	七九、九八四	八、五三〇・九三〇	鶏卵	一、六四八	二、〇二一・六〇〇
牛乳	七、一七五	二、五二〇・四八〇	豚肉	五三七	九九八・六〇〇
鶏肉	一、二四	三三〇・〇〇〇	合計	八九、四五六	一四、二八・六一〇

④ 其ノ他鹽干魚介類ノ野菜等ハ附近業者及生産者ヨリ購入ス

(3) 調理配給

主食、副食ノ調理、配給ハ共ニ職員ノ司厨士之ニ當ル、患者飼育ノ豚若クハ多量ノ鶏ヲ屠リ又ハ其ノ他特ニ手
 數ノ要スル献立ノ際ハ別ニ設ケタル患者炊事場ニ於テ患者ヲシテ便宜之カ調理ニ當ラシム

(4) 献立表

本年中ニ於ケル献立表ノ一部ヲ掲グレバ左ノ如シ

昭和十七年一月中旬献立表

日	曜	朝	昼	夕
11	日	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	漬物乙 鶏醬 澤庵 油 一〇立 一三〇	煮付 馬鈴薯 砂糖 油 一〇 三〇〇K
12	月	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	淺蜆汁 醬油 梅干 一五〇立 一三〇K 一人一個	煮付 大根 砂糖 油 一〇 三〇〇K 八八
13	火	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	燒魚 棒刺 一人二把	煮付 白節菜 砂糖 油 二〇 四〇〇K 四五

日	曜	朝	昼	夕
14	水	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	燒魚 棒刺 一人二把	煮付 白節菜 砂糖 油 二〇 四〇〇K 四五
15	木	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	佃煮 昆布佃煮 七〇K	煮付 大根 砂糖 油 一〇 三〇〇K 八八
16	金	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	燒魚 目刺 一人二把	煮付 白節菜 砂糖 油 二〇 四〇〇K 四五
17	土	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	煮付 おびらめ 砂糖 油 一八K 一七	煮付 大根 砂糖 油 三〇〇K 八八
18	日	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	漬物乙 菜油 砂糖 魚 四〇〇K 一三五〇切	煮付 馬鈴薯 砂糖 油 三〇〇K 八
19	月	味噌汁 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	漬物 味噌汁 味噌汁 八〇二 六五K	煮付 大根 砂糖 油 三〇〇K 八八